12479

ベネシャンブラインド

Uni Con モア 50 高気密タイプ

ワンコントロール式

取扱説明書 保証書

このたびは、当社商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうご ざいます。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、末永くご愛用く ださいますようお願いいたします。

お読みになった後は、大切に保管してください。

販売店様へのお願い

本取扱説明書は取付け後、必ずお客様へお渡しください。



コードやチェーンが体に巻きついたり 引っかかるようなことをしないでくだ さい。事故の恐れがあります。



№株式会社ニチベイ

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4 お客様サービス窓口: TEL 03-3272-2595 (平日9時~17時30分) ホームページアドレス http://www.nichi-bei.co.jp

再牛紙使用 J-12

安全にご使用していただくために (必ずお守りください)

このページは、お買上げいただいた製品を正しく取付け、安全にご使用していただくために、特に注意していただくことを表示してあります。

取付けの前にこのページをよくお読みになり、適切な取扱をしていただきますようお願いいたします。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警#

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示の欄は、「重傷を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この表示の欄は、してはいけない「禁止」内容です。



この表示の欄は、必ずしていただく「強制」内容です。

҈≜

付け上のご注

- ●付属のブラケット取付けネジは木枠用ですので、木質以外の下地(石膏ボード等)にはご使用になれません。取付け面の材質及びブラケットのネジ穴(φ4.2mm)に適合するネジ及びブラグ・アンカー等を別にご用意ください。
- ●プラケットの取付け時は、プラケット1個に付き必ず2本のネジでしっかり固定してください。 また、本体取付け時は、本体がプラケットにしっかり固定されているか必ず確認してください。 取付けが不完全ですと製品が落下してケガをしたり物を破損する恐れがあります。

⚠警告



●水濡れ(結露・雨漏り等)の発生が予想される場所への取付けは絶対におやめください。

●高温・多湿の条件が続く場所(サウナ・浴室・湯沸器近く・ボイラー室等)への取付けは絶対におやめください。

∧ 警告



●急激な操作や無理な操作は、絶対におやめください。製品の落下・破損などによる思わぬ事故の原因となります。

⚠注意



●昇降・作動の範囲内に破損の恐れのある物や操作の障害となる物を置かないでください。また、操作の際は範囲内に人がいないことを必ず確認してください。

⚠警告



●製品に物を吊り下げたり、ぶらさげることは絶対におやめください。製品が破損・落下して思わぬ事故の原因となります。

●コード類にぶらさがったり、無理に引張ったりすることは、絶対におやめください。メカ部の破損や 製品が落下する恐れがあります。また、お子様が操作コード(チェーン)や昇降コード等で遊びます と、コードが首や体に巻付くなどして思わぬ事故を招く恐れがありますので、ご注意ください。

⚠注意



上

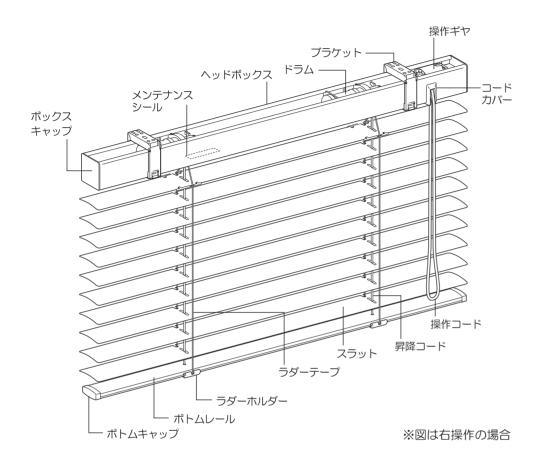
の

- ●強風の時や雨の降っている時は、必ず窓を閉めるかブラインドを上げてください。製品の破損や思わぬ事故の原因となります。
- ●製品の分解は絶対におやめください。製品の破損や故障の原因となります。
- ●ブラインドのスラット(羽根)を掃除する場合は、特にスラット端部で手を切る等のケガにご注意ください。



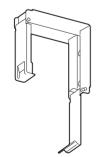
●製品は金属等を中心に構成されておりますが、火のそばでのご使用は絶対におやめください。

1 取付け完成図と各部の名称 |



2 付属部品

●ブラケット



商品幅(mm)	使用ブラケット数量
500 ~ 1800	2 ケ
1810 ~ 3000	3 7
3010 ~ 4000	4 ケ

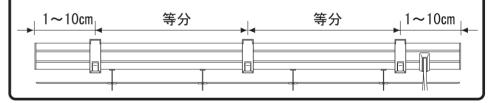
※ブラケット取付け用ネジは付属していません。 ブラケット1ヶにつき下地に応じたネジを2ヶづつご用意ください。

3 ブラケットの取付け方法

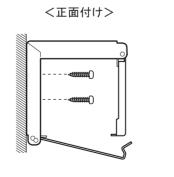
取付けの種類 窓枠の外側に取付ける場合 < 天井付け> ブラケットの取付け

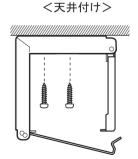
注意

- ●ブラケットは操作コード、ラダーテープ位置をさけ、 両端は<u>必ず 1 ~ 1 0 cmの範囲</u>に取付けてください。 3 ヶ以上になる場合は、ほぼ等間隔になるように取付けてください。
- ●ブラケットは左右平行(水平)になるように取付けてください。



ブラケットをネジでしっかりと固定してください。

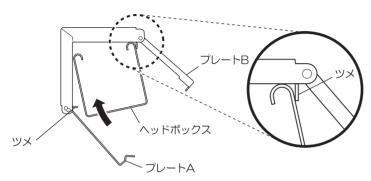




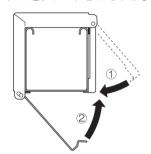
4 本体の取付け・取外し方法

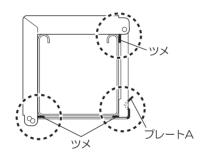
本体の取付け

- ★本体取付け前に操作コードの奥側を引き、本体のスラット(羽根)を一段分下ろしてくだ さい。
- ①ブラケットのプレートAを図のようにヘッドボックスとスラット 1 段目の間に入れながらブラケッ ト下部のツメにのせプレートBを閉じてください。



②プレート A をプレート B にしっかりとはめ込んで本体を固定してください。

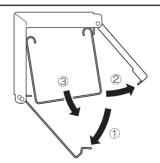




製品取付け時は、製品がブラケットにしっかりと固定されているか必ず確認してく ↑ 警告 ださい。取付けが不完全ですと製品が落下してケガをしたり、物を破損する恐れが あります。

本体の取外し

- ★本体取付け前に操作コードの奥側を引き、 本体のスラット(羽根)を一段分下ろしてく ださい。
- ①ヘッドボックスを手で支えながらブラケットの プレートAのツメを下に引き、プレートBか ら外してください。
- ②プレート B を手前に引き出し、ヘッドボックス を矢印の方向へ取外してください。

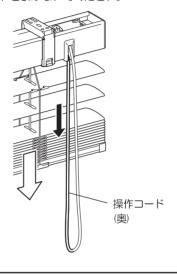


5 操作方法

ブラインドの昇降

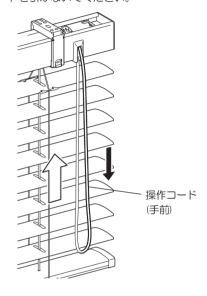
ブラインドを下げる

操作コードの奥側を引いてください。 ブラインドが下がりきりましたら、それ以上無 理にコードを引かないでください。



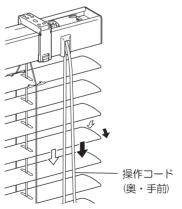
ブラインドを上げる

操作コードの手前側を引いてください。 ブラインドが上がりきりましたら、それ以上無 理にコードを引かないでください。



スラットの角度調節

操作コードの手前・奥を交互に引き調整してくだ さい。



ポイント

ブラインドを最下部まで下降させた際に、スラットを数回回転させることで 遮蔽性が良くなります。

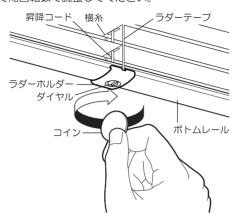
6 高さ調整方法

- ●ブラインドを全て降ろした際、ボトムレールが窓枠等に当たる場合、ブラインドの高さを短く微調整できます。
- ●高さ調整は昇降コード位置にあるダイヤル付きのラダーホルダーで行います。 ※調整の際は、ダイヤル付きのラダーホルダーを全て同回転数で調整してください。
- ●ラダーホルダーのダイヤルにコインもしくはマイナスドライバーを差し込み、矢印の方向に回転させるとブラインドの高さを短くできます。
 ※ダイヤル1/4回転で約5mm調整できます。

注意

ラダーテープ最下段の横糸をハサミ等でカットすることで約40mmまで短く調整できます。

但し、ラダーテープの横糸をカットすると 元の高さに戻せなくなりますのでご注意く ださい。



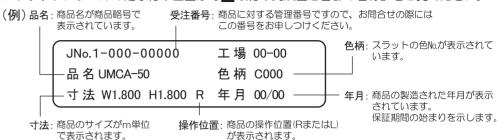
7 お手入れ方法(汚れの種類と使用する洗剤)

◎各洗剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。



8 メンテナンスシールについて

この商品についての詳細はメンテナンスシールに記載してあります。 メンテナンスシールの貼り付け位置は『**■**取付け完成図と各部の名称』をご覧ください。



9 保証について

保証書

この度は、弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

当商品は、厳密なる品質管理及び検査を経てお届けしておりますが、万一、保証期間内に故障した場合には、当社保証規定に従って修理させていただきます。

修理をご依頼の場合は、メンテナンスシールをご確認の上、お買い上げいただいた販売店又は、最寄りの弊社営業所までご連絡ください。

保証期間:お買上げ日より1年間

保証規定

- 1. 取扱説明書・本体注意ラベル・操作カードに従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合は無償で修理させていただきます。但し、消耗部品(スラット部・コード類)の無償保証期間は1年となります。
 - キズ・汚れにつきましては、お買い上げ後7日以内にお申し出ください。
- 2. 保証期間内でも次の場合は無償修理対象外(有料修理)となります。
 - 取付け上の誤り、使用上の誤りによる故障または破損。
 - ・不当な改造、修理による故障または破損。
 - ・天変地異(火災、地震、水害、落雷等)による故障または破損。
 - ・特殊環境(極度の高温多湿、薬品のガス、公害、粉塵等)による故障または破損。

●お客様サービス窓口: TEL03-3272-2595 (お問合せ時間: 平日9時~17時30分)

7 株式会社ニチベイ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-15-4

●各種漂白剤・・・・・・塩素系、酸素系とも使用により、脱色及び黄変することがあります。